

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさみや			
○保護者評価実施期間	2025年12月6日			2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年12月19日			2025年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月26日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日別プログラムを採用することでの療育内容の明確化	曜日別プログラムを柱として、毎月の活動内容を計画的に検討する時間を設けています。	医療機関（作業療法・言語療法など）との連携をとることで、新しい療育の知識や技術を療育の場でも提供できるように心がけます。
2	豊富な教材を活用した支援体制	教材に対して意識を高く保つことができるよう、新しい教材を定期的に購入したり、教材BOXの内容を変更したりしています。	同じ教材に偏らないように、職員間で、相談しながら教材BOXを作成し、使用していきます。
3	保護者と直接会話のできる環境整備	直接相談、電話相談、LINE相談など、保護者が相談したいと思った時に、いつでも連絡できる環境を整えています。	状況に応じた対面での保護者相談の時間を設けることで、保護者が安心して相談できる場を設定していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	単独事業所のため、療育内容を比較する対象がない。そのため、何が正解で、何を改善していいのかがわかりにくい。	他事業所との交流が無い。 知識や経験不足による若手の職員が多い。	他事業所との交流ができる機会を設定することで、当社の療育に足りないものに気づけるようにします。また、研修に積極的に参加することで、他事業所の人との交流の場、職員の学ぶ場を大切にしていきます。
2	単独事業所のため、利用人数に限りがあり、受け入れができない。	代表が一人で経営をしているため、事業所を増やすことができない。	利用人数の範囲内で、できる限り受け入れができるように、体制を整えていきます。
3			